

# 一般公開イベント JIA 建築家大会2016大阪 笑都物語



繋いできたもの 繋いでゆくもの



## 桂 歌之助 (落語家) / モデレーター

1971年、大阪府高槻市生まれ。  
96年、千葉大学工学部建築学科卒業後、二代目桂歌之助に入門し、歌々志(かかし)を名乗る。  
2007年、三代目桂歌之助を襲名。  
なにわ芸術祭新人賞(2006年)、繁昌亭大賞輝き賞、咲くやこの花賞大衆芸能部門、文化庁芸術祭新人賞(2007年)など多数受賞。



## 青木 豊彦

(東大阪モノづくり親善大使・(株)アオキ取締役会長)

1945年生まれ。モノづくりの町、東大阪で「メイド・イン・東大阪」の人工衛星(まいど一号)の打ち上げ計画をスタートさせた中心者。「モノづくりにはプライドを持たなければならぬ」との思いは、同社を世界的航空機メーカー・ボーイング社の認定工場に押し上げた。大阪市立大学や和歌山大学では客員教授も勤め、多方面に精力的に活躍中。



## 倉田 哲郎 (大阪府箕面市長)

1974年、静岡県清水市(現・静岡市)生まれ。  
97年、東京大学法学部卒業後、郵政省(現・総務省)入省。  
2003年に総務省から箕面市に出向。08年に総務省を退職し、当時全国最年少市長として箕面市長(34歳)に当選。  
現在は2期目を勤める。斬新な施策を次々と打ち出し、箕面のまちの「元気づくり」「魅力アップ」に取り組んでおり、その手腕は多方面からも注目されている。



## 関 純子 (関西テレビ アナウンサー)

大阪府豊中市出身。1988年、大阪大学人間科学部卒業後、関西テレビ放送入社。生活情報番組「痛快! エブリデイ」の司会を落語家桂南光氏と約15年担当。現在「みんなのニュース ワンダー」「カンテレ通信」、フジテレビ「みんなのニュース〈みんなのふるさと〉中継リポーター」などを担当。また、イベント司会、講師でも活躍。一男一女のママアナ。ブログ「ママアナ関純子が行く!」を執筆中。



## 古谷 誠章 (建築家・早稲田大学教授)

1955年生まれ。スタジオナスカ代表取締役。  
80年に早稲田大学大学院修了後、86年より近畿大学講師を経て、94年に早稲田大学助教授、97年より現職。  
代表作に「アンパンマン・ミュージアム」「茅野市民館」「小布施町立図書館まちとよテラス」「実践学園自由学園学習館」等。日本建築学会賞、日本芸術院賞、日本建築大賞、AACA賞など多数受賞。

### ■日時

10月29日(土) 開場9:30~ 開演10:00/終了12:15(予定)

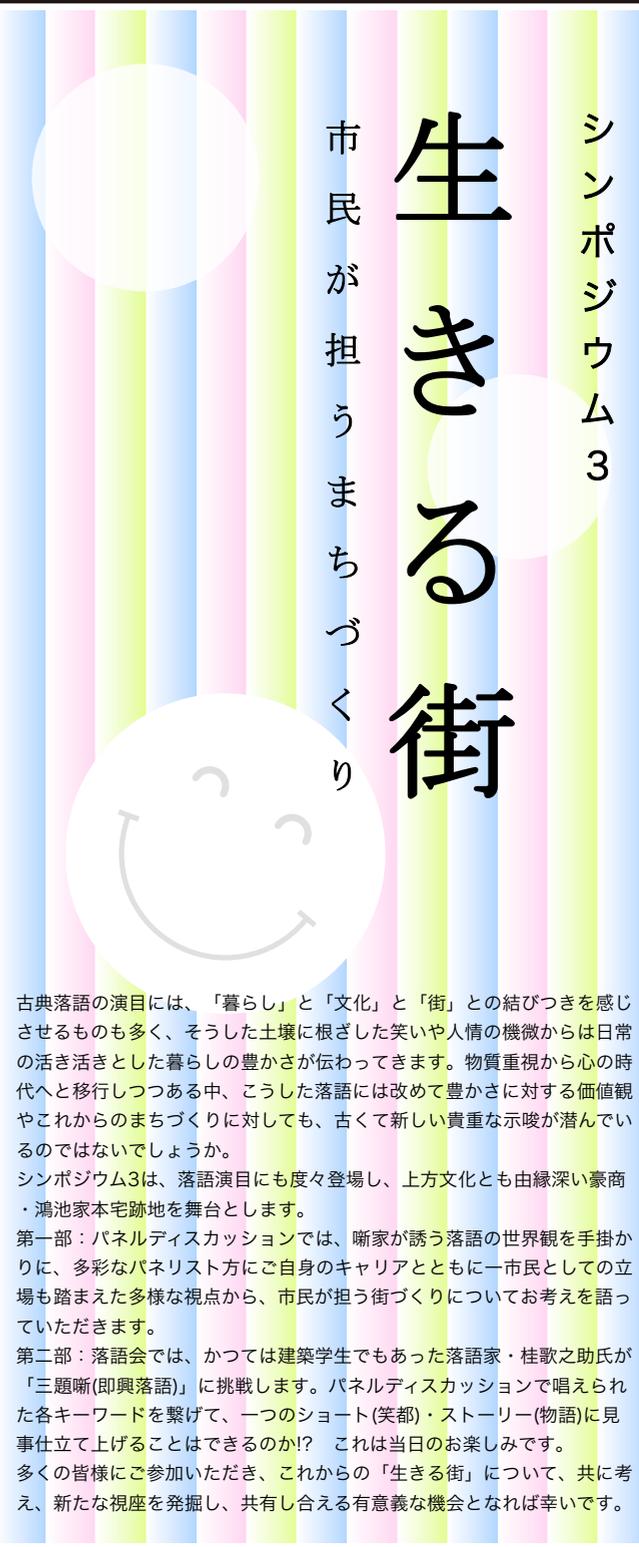
### ■会場

大阪美術倶楽部(旧鴻池家本宅跡) 大阪市中央区今橋2-4-5

### ■定員150名(入場無料)

尚、当日は会場の混み具合により入場制限をさせていただく場合がございます。予めご了承下さい。

※今後、企画内容等に変更が生じる場合がございます。ご了承下さい。



シ  
ン  
ポ  
ジ  
ウ  
ム  
3  
  
生  
き  
る  
街  
  
市  
民  
が  
担  
う  
ま  
ち  
づ  
く  
り

古典落語の演目には、「暮らし」と「文化」と「街」との結びつきを感じさせるものも多く、そうした土壌に根ざした笑いや人情の機微からは日常の活き活きとした暮らしの豊かさが伝わってきます。物質重視から心の時代へと移行しつつある中、こうした落語には改めて豊かさに対する価値観やこれからのまちづくりに対しても、古くて新しい貴重な示唆が潜んでいるのではないのでしょうか。

シンポジウム3は、落語演目にも度々登場し、上方文化とも縁深い豪商・鴻池家本宅跡地を舞台とします。

第一部：パネルディスカッションでは、嘶家が誘う落語の世界観を手掛かりに、多彩なパネリスト方にご自身のキャリアとともに一市民としての立場も踏まえた多様な視点から、市民が担う街づくりについてお考えを語っていただきます。

第二部：落語会では、かつては建築学生でもあった落語家・桂歌之助氏が「三題噺(即興落語)」に挑戦します。パネルディスカッションで唱えられた各キーワードを繋げて、一つのショート(笑都)・ストーリー(物語)に見事仕立て上げることはできるのか!? これは当日のお楽しみです。多くの皆様にご参加いただき、これからの「生きる街」について、共に考え、新たな視座を発掘し、共有し合える有意義な機会となれば幸いです。

### 【問合先】公益社団法人日本建築家協会 近畿支部

541-0051 大阪市中央区備後町2-5-8 綿糸会館 4F  
TEL:06-6229-3371 FAX:06-6229-3374 MAIL:jia@bc.wakwak.com  
http://jia-osaka.org

